

「第25回千駄木プレホスピタル研究会開催報告」

平成30年3月2日（金）、第25回千駄木プレホスピタル研究会を当大学院棟にて開催いたしました。より良い医療を患者へ提供するべく、救急隊と病院スタッフとの「顔の見える関係」を築くことを目的に設立された本研究会は今回で25回目を迎え、医師・看護師・医学生・消防職員・これから救急救命士を目指す救急救命士養成学校の学生等129名もの方々にご参加いただいた中での開催となりました。

今回は、東京消防庁本郷消防署根津救急小隊及び当院救命救急科助教・秋山真之先生によりドクターカーが出動した症例の検討を交えながら、心臓血管集中治療科講師・山本剛先生に「ACSが疑われる傷病者への対応」と題してのご講演をいただきました。

また、当院救命救急科助教・五十嵐豊先生に「増加し続ける窒息と救急対応」、医療法人社団 美加未会ひかりホームクリニック・亀山大介先生には「これからの地域医療を支える在宅医療と救急隊の連携」のご講演をいただきました。

当日参加された方々からは「ACSを疑う症例における緊急度の認識について改めて確認できた」「窒息の対処法について考えさせられた」「在宅医療は今後の救急活動において切り離せない課題だと感じた」等の声を頂戴いたしました。

今後もチーム医療の輪をより強固なものとするべく、次回開催に臨みたいと考えています。

東京消防庁委託研修生



